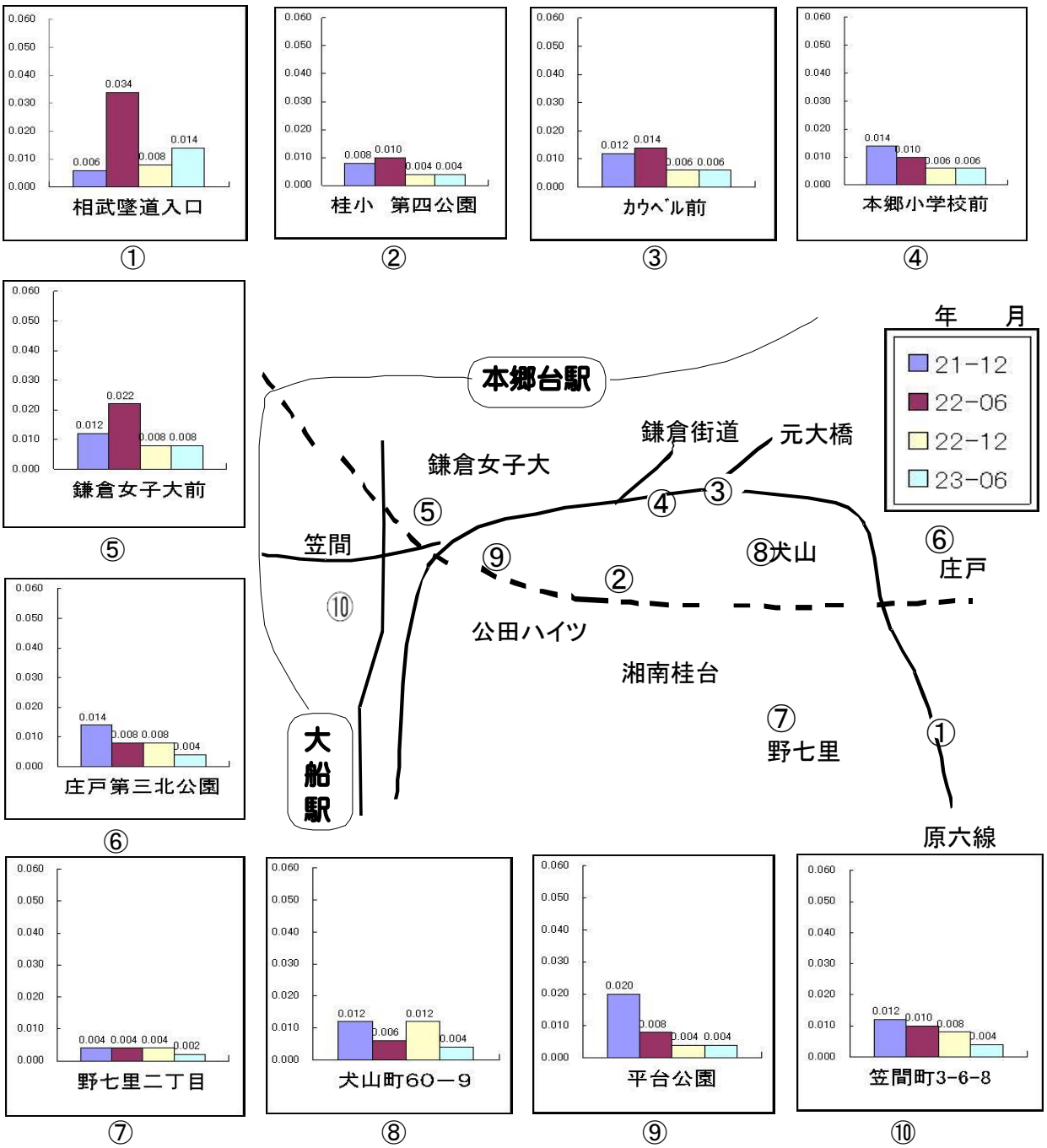
令和5年(2023年) 6月の定点測定結果まとまる

連協環境部では各団体参加のもと、毎年６月と１２月の２回第一木、金、土曜日を使って栄区内の定められた場所２２箇所に　二酸化窒素の濃度を測定するカプセルを設置して、所謂定期定点観測を続けております。今回は台風２号接近の影響で曇り後豪雨強風の中での測定でした。
以下は主な測定点の値を過去３回分と合わせたグラフです。
いずれも環境基準０．０６０ｐｐｍ以内でした。



二酸化窒素測定作業

試薬及び試薬付きろ紙は有限会社筑波総研より取り寄せております。
カプセルの準備（木）。カプセルにろ紙をセットし、ひも付きカップ、記録紙と共に各団体に分けます。
測定（木⇒金）。各団体は担当の各ポイントにその番号のカプセルを２４時間設置した後回収します。
分析（土）。カプセルに試薬を加えると,ろ紙が吸収した二酸化窒素と反応して赤紫色に着色します。
その濃度をエコアナライザーNoxで測定します。ppmでデジタル表示されます。